

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
令和3年(2021年)
9月17日
発行責任:校長 石井 武

★9月20日は69回目の創立記念日!

いよいよ来年、五中は70周年です!

9月20日(月)は敬老の日の祝日であるとともに、五中の69回目の創立記念日であります。

昭和27年(1952年)4月9日、大池小学校の校舎を借りて五中の第1回入学式が行われ、克明・螢池両小学校から第1期生383名が入学、1学期は服部の豊中四中南側にあった香梅高等女学校の仮校舎で授業が行われました。7月に現在の地に当時の文部省指定のモデル設計による鉄筋コンクリートの校舎が完成し、9月20日に第1期工事の落成式が行なわれたことから、この日が創立記念日に制定されました。

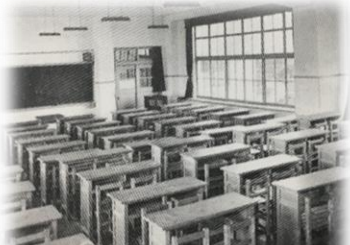
しかし、終戦後間もない時期で、教材や校具は不足し、運動場も体育の授業ができるような状態ではなかったため、生徒・教職員・PTAが一丸となって校舎や運動場を整備し、みんなの力と情熱で新しい学校づくりに励んだそうです。

「我々の希望は、一日も早くよい学校にすることでした。その苦勞の甲斐があって、第1回の体育大会もこの運動場で立派に行うことができました。」と1期生が振り返っておられます。

それから69年、先輩方や保護者、地域の方々が力を合わせ今日の中を築いてこられたことに、心から敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。1952年の開校以来、五中の卒業生総数は現在20,322名を数えています。



▲開校の日(1952.9.昭27)



教室(木製2人掛け机)

★五中生、がんばっています! PART 3

豊中市理科展で見事入賞!

今年度の「豊中市立小中学校理科展」(豊中市教育委員会主催)

には、小中学校56校から90作品が出品されました。審査の結果、大阪府学生科学賞応募作品として12作品が決定し、本校2年3組の作品「セミの解剖」がその一つに選ばれました!

この作品に取り組むきっかけは、「セミのオスがどうやってあれほど大きな声で鳴くのか?セミのオスとメスの体内の構造は同じなのか?」という疑問から解剖をしてみようという動機につながったとのこと。解剖を通じて気づいたセミのオスとメスの違いを、インパクトのある写真とともに紹介しています。本当によくがんばりましたね!入賞、おめでとうございます!





★「未来の五中を想像しよう！」作品紹介PART 1

たくさんの素敵な作品をありがとう！

私から夏休みの宿題としてみなさんにお願いした「未来の五中」は、詩や作

文、イラストや絵など合計136点もの

作品が集まりました。30年後、100周年を迎えた五中はどんな姿になっているのか、何が変わり、何が残っているのか、五中が大事にしていくべきことは何なのか、生徒のみなさんの柔軟な発想と豊かな感性にあふれた作品ばかりで、とても感動しました。

提出してもらった作品の一部ではありますが、学校だより「五中夢バトン」の紙面で少しずつ紹介していきたいと思います。夏休み、宿題や部活動で忙しい中、作品づくりをがんばってくれてありがとう！



(3年)

30年後、私たち68期生は45歳になっています。そのころの五中は、今私たちが先輩から引き継いで、そして後輩に引き継ごうとしている夢バトンが、30年後の五中生にもきっと届いているはずです。30年後だけでなく、私たちがもし五中に通う子供を持ったとしたら、夢バトンについて親子で楽しく語り合えたらとっても素敵なことだと思います！



五中のモットーである「はみごのないまち、学校づくり」も今いる先生や生徒の意思を受け継いだ、そのころの五中の方々がしっかりと守ってくれて、笑顔あふれる五中であることだと思います。そして、未来の五中の雰囲気は今と変わらないままであってほしいです。私が五中生として毎日登校していることに凄く満足していて、毎日が本当に楽しいし、とっても過ごしやすい雰囲気だからです。30年後の五中、私はすごく楽しみにしています。

(3年)

未来の五中での授業はオンライン授業になり、どこでも受けられるようになっていくと思います。しかし集団生活が必要なので、体育、クラブ活動などは学校に行くのではないかと思います。そして人との関わりでは、未来でも人権を大切に、いじめや差別がなく、人と人が助け合える学校をめざして生徒同士が意見を出し合っていると思います。



体育館は新しくなり、空調がついたり、舞台の照明が進化して、今は体育の授業とクラブくらいでしか使っていないけれど、他の授業でも使えるようになると思います。

(2年)



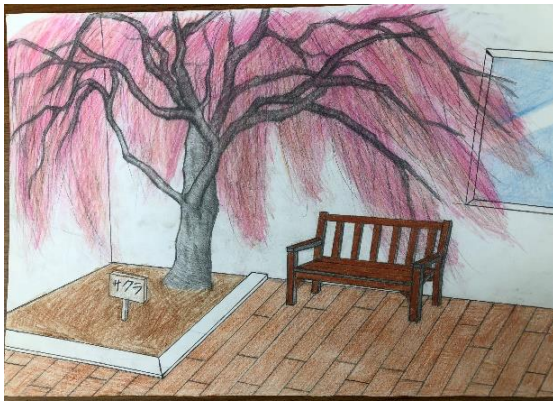
(3年)



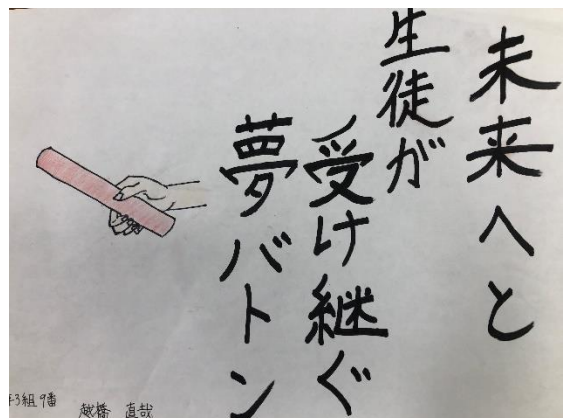
(3年)



(1年)



(3年)



(2年)